

【表紙】

【提出書類】	訂正発行登録書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年8月31日
【会社名】	株式会社中国銀行
【英訳名】	The Chugoku Bank, Limited
【代表者の役職氏名】	取締役頭取 加藤 貞則
【本店の所在の場所】	岡山市北区丸の内一丁目15番20号
【電話番号】	岡山(086)223局3111番(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員総合企画部長 山縣 正和
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋室町一丁目5番5号 株式会社中国銀行東京事務所
【電話番号】	東京(03)3242局1318番
【事務連絡者氏名】	東京事務所長 三好 隆弘
【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】	社債
【発行登録書の提出日】	2020年8月31日
【発行登録書の効力発生日】	2020年9月8日
【発行登録書の有効期限】	2022年9月7日
【発行登録番号】	2 - 関東1
【発行予定額又は発行残高の上限】	発行予定額 50,000百万円
【発行可能額】	50,000百万円 (50,000百万円) (注) 発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額 (下段()書きは、発行価額の総額の合計額)に基づ き算出しております。
【効力停止期間】	該当事項なし
【提出理由】	2020年8月31日付で提出した発行登録書の記載事項中、「第一部 証券情報」「第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするため、また、「第一部 証券情報」「募集又は売出しに関する特別記載事項」の記載の追加を必要とするため、本訂正発行登録書を提出するものであります。
【縦覧に供する場所】	株式会社中国銀行福山支店 (広島県福山市紅葉町1番1号) 株式会社中国銀行高松支店 (香川県高松市丸亀町3番地の6) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

【訂正内容】

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

<株式会社中国銀行第1回期限前償還条項付無担保社債（実質破綻時免除特約及び劣後特約付）（ソーシャルボンド）に関する情報>

1【新規発行社債】

（訂正前）

銘柄	株式会社中国銀行無担保社債（実質破綻時免除特約及び劣後特約付） （中略）
券面総額又は振替社債の総額（円）	未定 （中略）
発行価額の総額（円）	未定
発行価格（円）	未定 （後略）

（訂正後）

銘柄	株式会社中国銀行第1回期限前償還条項付無担保社債（実質破綻時免除特約及び劣後特約付）（ソーシャルボンド） （中略）
券面総額又は振替社債の総額（円）	金10,000百万円 （中略）
発行価額の総額（円）	金10,000百万円
発行価格（円）	各社債の金額100円につき金100円 （後略）

2【社債の引受け及び社債管理の委託】

（1）【社債の引受け】

（訂正前）

未定

（訂正後）

株式会社中国銀行第1回期限前償還条項付無担保社債（実質破綻時免除特約及び劣後特約付）（ソーシャルボンド）（以下「本社債」という。）を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しております。

引受人の氏名又は名称	住所
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目9番1号
S M B C日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号

（注）1．上記のとおり、元引受契約を締結する金融商品取引業者のうち、主たるものは野村證券株式会社、S M B C日興証券株式会社及び三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社を予定しておりますが、その他の引受人の氏名又は名称及びその住所並びに各引受人の引受金額、引受けの条件については、利率等決定日に決定する予定であります。

2．野村證券株式会社の住所は、2020年10月1日以降は「東京都中央区日本橋一丁目13番1号」であります。

3【新規発行による手取金の使途】

(1)【新規発行による手取金の額】

(訂正前)

未定

(訂正後)

本社債の払込金額の総額10,000百万円（発行諸費用の概算額は未定）

(2)【手取金の使途】

(訂正前)

長期的投融資資金、一般運転資金及び既存債務の返済に充当する予定であります。

(訂正後)

長期的投融資資金、一般運転資金及び既存債務の返済に充当する予定であります。

本社債の手取金については、全額を適格クライテリア（下記「募集又は売出しに関する特別記載事項 2 適格クライテリア」に記載します。）を満たす新規及び既存の融資又は支出に充当する予定であります。

「第一部 証券情報」「第2 売出要項」の次に以下の内容を追加します。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

<株式会社中国銀行第1回期限前償還条項付無担保社債（実質破綻時免除特約及び劣後特約付）（ソーシャルボンド）に関する情報>

ソーシャルボンドとしての適格性について

当行はソーシャルボンドの発行を目的として、「ソーシャルボンド原則（Social Bond Principles）2020」（注）に則り、ソーシャルボンド・フレームワークを策定し、第三者評価として、株式会社格付投資情報センター（「R&I」）より、当該フレームワークが「ソーシャルボンド原則2020」に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しております。

（注） ソーシャルボンド原則（Social Bond Principles）2020とは、国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会（Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee）により策定されているソーシャルボンドの発行に係るガイドラインです。

ソーシャルボンド・フレームワークについて

当行は、ソーシャルボンド発行を目的として、ソーシャルボンド原則2020が定める4つの要件（調達資金の使途、プロジェクトの評価と選定のプロセス、調達資金の管理、レポートニング）に適合するフレームワークを以下の通り策定しました。

1. 調達資金の使途

本ソーシャルボンド・フレームワークに基づいて発行するソーシャルボンドを通して調達した資金を、以下の適格クライテリアを満たす新規及び既存の融資又は支出に充当し、発行日から遡って過去1年以内に実行された融資案件に充当します。

<ソーシャル適格クライテリア>

雇用創出・維持

新型コロナウイルス感染症の流行により、事業に直接的又は間接的に影響を受けているお客さまへの融資

A) 「中銀新型肺炎対策緊急特別融資」

新型コロナウイルス感染症の流行により、事業に直接的又は間接的に影響を受けている法人又は個人事業主のお客さまを対象とした融資。資金使途は運転資金又は設備資金（設備資金の場合、感染症対策にかかる設備導入・更新に限る）。

B) 「(各都道府県制度融資)新型コロナウイルス感染症対応資金」

各都道府県で定められた新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた危機対応融資(いわゆる実質無利子・無担保融資を含む)。

実質無利子・無担保融資

売上高(前年同月対比等)が一定以上減少した中小・小規模事業者、個人事業主に対し、国が制定した金利補助(最長3年)や保証料補助を活用し、通常より金利や保証料が軽減された融資。

C) 「資本性ローン」

新型コロナウイルス感染症の流行により、一時的に経営環境が悪化した法人のお客さまを対象。実質的な自己資本の増強に資する借入である資本性ローンを通じて、お客さまの資金繰り安定化や財務基盤の強化に貢献する融資。

D) その他

上記に準じた新型コロナウイルス感染症に対応する融資。

2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

<プロジェクトの選定における適格クライテリアの適用>

所管部がコロナ禍による企業支援のための融資商品を開発し、リスク管理部門や役員決裁等の行内プロセスを経て選定されます。ソーシャルボンドの対象として適格とする判断は、総合企画部が評価し、最終決裁等は総合企画部長が行います。

3. 調達資金の管理

ソーシャルボンドの調達資金は、所管部が数値をまとめ、総合企画部が所定の内部プロセスに従い管理します。総合企画部は年に1度、ソーシャルボンドの発行残高の総額が直近期末の適格ローン残高を上回っていないことを確認し、その確認結果について総合企画部長の承認を得ることとします。

また、適格ローン残高がソーシャルボンドの発行残高の総額を下回った場合は、下回った額と等しい額(未充当資金)を現金又は現金同等物により管理します。

4. レポーティング

<資金充当状況レポーティング>

当行は資金充当状況につき、ソーシャルボンドの残高が存在する限り、以下の項目を年1回ホームページで開示予定です。また、充当完了後も、充当状況に重大な変化があった場合には、その旨開示する予定です。

適格クライテリアのカテゴリー毎の充当額、融資件数

未充当金額

ソーシャルボンドの残高

<インパクトレポーティング>

当行はソーシャルボンドの残高が存在する限り、以下の指標を年1回ホームページで開示予定です。

	対象とする投融資	レポーティング項目
雇用創出・維持	<ul style="list-style-type: none"> ・「中銀新型肺炎対策緊急特別融資」 ・「(各都道府県制度融資)新型コロナウイルス感染症対応資金」 ・「資本性ローン」 ・その他上記に準じた新型コロナウイルス感染症に対応する融資 	<ul style="list-style-type: none"> ・適格ローン残高 ・融資件数